

## 第 282 回 昭和の森自然観察会

### 池や川の生き物を観てみよう！

山下美佐子（東金市）

日 時：2015 年 6 月 14 日（日）13～15 時 天気：曇り

参加者：50 名（大人 31 名・子ども 19 名）、指導員：10 名

担当指導員：小川洋子 山下美佐子

朝は小雨が降っていましたが、昼前から曇りになり、観察会は実施決定。でも、参加者は少ないかなあ～、と思っていたら、なんと久々の 50 名の参加で大賑わいの観察会となりました。最初に、昭和の森の池や川はきれいな水が絶えず流れて、今は少なくなったメダカやホトケドジョウなどがあること、それらを田んぼ作りや草刈りをして守っているが、残念ながら特定外来生物のウシガエルやブラックバス、また要



注意外来生物アメリカザリガニやミシシippアカミミガメがたくさん生息し、メダカやヤゴなどを食べていること等を話しました。在来種を守るためには、今いる在来の生き物を持ち出さない、別場所の生き物を持ち込まないことが一番ですと話しました。

クワの実を食べたり、色とりどりの花菖蒲やホタルブクロの花、ノシメトンボやシオカラトンボ、また、ゲンジボタルの餌になるカワニナの移動跡を観たりしながら下タ田池に到着。スイレンが咲く池には、コシアキトンボやチョウトンボ、ショウジョウトンボが飛んでいました。アオモンイトトンボはハート形の交尾を参加者に観せてくれました。人が近づくと餌を求めてか、コイと一緒に泳いだのは、ミシシippアカミミガメ。ミドリガメが大きくなったものと説明。大量のウシガエル オタマジャクシや口が目の下まであるブラックバスの稚魚をみんなで観察。田んぼではやわらかい土の畦をゆっくり歩き、アメンボや土にもぐりこむドジョウ、オタマジャクシなど田んぼの生き物を目で見て観察。その後は、前もって捕まえていた 大物 15 cm ドジョウの髭の数を数えたり、オタマジャクシに直に触れてみたりして、生き物の感触を楽しみました。

調整池に近づくにつれて、「モォー、モォー」とウシガエルの鳴き声が。池に着くと、ぽちゃん、ぽちゃん、とあちこちで池に飛び込む音が。たくさんいることにびっくり！子どもたちは、大きなウシガエル オタマジャクシやトロトロの卵かいに、はじめはおっかなびっくり触っていましたが、最後は大胆につかんで、初めて感触を楽しんでいました。こんなに大きくなるためにはたくさんのメダカやヤゴを食べたかもね。また、オオアオイトトンボ ヤゴのか細い姿や、オニヤンマ ヤゴの大きさにびっくり。最後は、皆さんに自然のつながり、食べる食べられるの関係を絵でお話をして終了しました。